

令和4年度 奈良の木利用拡大検討委員会 資料

令和5年1月

奈良県 水循環・森林・景観環境部

奈良の木ブランド課

森林資源生産課

森と人の共生推進課

目 次

- 「奈良県森林環境の維持向上及び県産材の利用促進に関する指針」の概要P 3
- 「指針」で定めた施策体系P 4
- 指標の現在値(令和3年の値)
 (その1)～(その2)P 5
- 令和3年度 事業実施状況(令和3年度に取り組んだ主要な事業)
 (その1)～(その4)P 7
- 「指針」に基づく施策の概要P11
- 令和4年度 事業内容(施策体系別)
 (その1)～(その6)P12

「奈良県森林環境の維持向上及び県産材の利用促進に関する指針」の概要

社会経済情勢	【森林環境】 木材価格の下落 災害の発生（地球温暖化） 森林機能の低下（施業放置） 林業従事者の減少 小規模な所有形態 森林環境に対する意識の高まり 公的管理の必要性の高まり	【県産材利用】 住宅着工の減少 製材工場の減少 製材品出荷額の減少 木材利用に対する意識の高まり
	↕	↕

奈良県森林環境の維持向上及び県産材の利用促進に関する指針 (5カ年計画 令和3年度～7年度)

奈良県森林環境の維持向上に関する事項

(根拠)
R 2年4月施行
**奈良県森林環境の維持向上により
森林と人との恒久的な共生を図る条例**

県産材の安定供給及び利用促進に関する事項

(根拠)
R 2年4月施行
**奈良県県産材の安定供給及び
利用の促進に関する条例**

理念

奈良県の豊かな森林と人が恒久的に共生する社会の創生

目標

施業放置林の解消に向けて整備が進み、森林の4機能を高度に発揮している森林が広がっています

県産材の生産・利用拡大に合わせ、林業・木材産業が持続可能な産業として発展しています

施策の柱

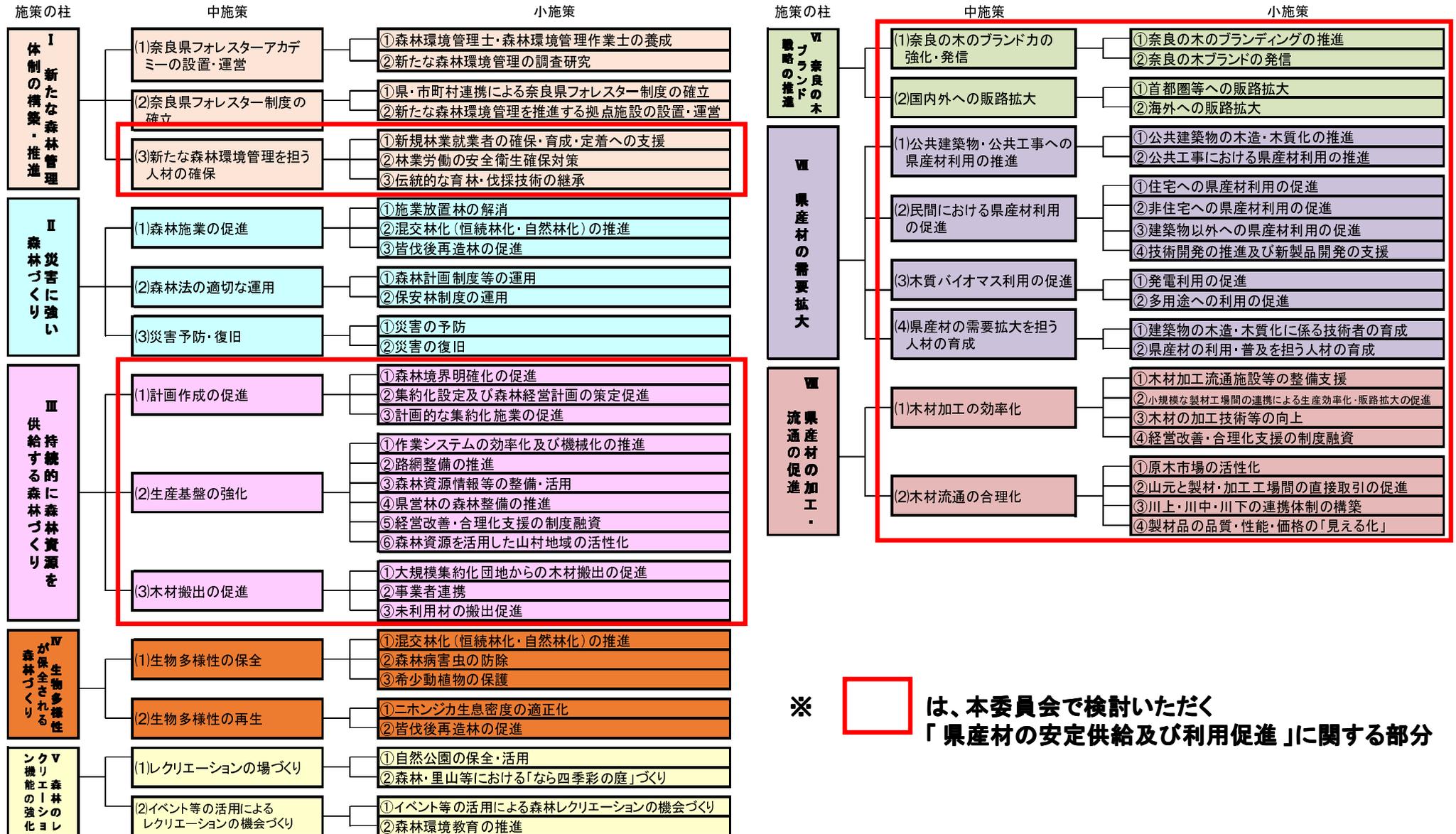
- I 新たな森林環境管理体制の構築・推進
- II 災害に強い森林づくり
- III 持続的に森林資源を供給する森林づくり
- IV 生物多様性が保全される森林づくり
- V 森林のレクリエーション機能の強化

- VI 奈良の木ブランド戦略の推進
- VII 県産材の需要拡大
- VIII 県産材の加工・流通の促進

具体的施策・事業

施策の柱ごとに個別事業をとりまとめ

■ 施策体系



※ は、本委員会で検討いただく「県産材の安定供給及び利用促進」に関する部分

「奈良県森林環境の維持向上及び県産材の利用促進に関する指針」 指標の現在値（R3） その1

I 新たな森林環境管理体制の構築・推進

指標設定の趣旨	指標項目	基準値 R1	R2	現在値 R3	目標値 R7	施策
森林環境管理士・森林環境管理作業士の養成の状況を評価する指標として活用	森林環境管理士資格取得者数	0人	0人	0人	40人	奈良県フォレスターアカデミーの設置・運営
	森林環境管理作業士資格取得者数	0人	0人	2人	50人	
奈良県フォレスターの市町村配置の状況を評価する指標として活用	奈良県フォレスターの任命者数	10人 (R2)	10人	13人	25人	奈良県フォレスター制度の確立
森林環境管理を担う人材の確保の状況を評価する指標として活用	林業の新規就業者数 ()内は累計	※H27～R1 126人	26人	32人 (32人)	※R3～R7 285人	新たな森林環境管理体制を担う人材の確保

II 災害に強い森林づくり

指標設定の趣旨	指標項目	基準値 R1	R2	現在値 R3	目標値 R7	施策
施業放置林の解消への取組を評価する指標として活用	混交林への誘導整備面積	0ha	0ha	45ha	1,100 ha	森林施業の促進
伐採届(皆伐)等の審査・指導等の強化を評価する指標として活用	伐採届(皆伐)の現地調査実施の割合 (転用・線下伐採を除く)	—	—	—	100%	森林法の適切な運用
山地災害の早期復旧を評価する指標として活用	紀伊半島大水害以降に発生した主な山地災害(25箇所)の復旧箇所	13箇所	13箇所	15箇所	23箇所 ※未完了2箇所	災害予防・復旧

III 持続的に森林資源を供給する森林づくり

指標設定の趣旨	指標項目	基準値 R1	R2	現在値 R3	目標値 R7	施策
森林経営計画策定の進捗を評価する指標として活用	森林面積に対する森林経営計画策定率	9%	8%	8%	16%	計画作成の促進
	森林経営計画等に基づく森林施業面積	3,768ha/年	4,107ha/年	2,946ha/年	6,800ha/年	
生産基盤の強化度合いを評価する指標として活用	高性能林業機械等の導入台数	57台(H30)	79台	集計中	80台	生産基盤の強化
	林内路網密度	18.7m/ha	18.9m/ha	19.1m/ha	20.4m/ha	
	航空レーザ測量面積	126km ²	572km ²	776km ²	2,020km ²	
木材搬出促進を評価する指標として活用	大規模集約化団地数	15件	16件	17件	24件	木材搬出の促進
	木材生産量	16.1万m ³ /年(H30) (A材:9.4万B材:2.2万C材:4.5万)	15.7万m ³ /年 (A材:7.1万B材:2.1万C材:6.5万)	17.0万m ³ /年 (A材:8.7万B材・C材:8.3万)	20万m ³ /年 (A材:11万B材:2万C材:7万)	
	素材生産の生産性	3.0m ³ /人・日(H30)	3.1m ³ /人・日(R1)	集計中	3.6m ³ /人・日	

IV 生物多様性が保全される森林づくり

指標設定の趣旨	指標項目	基準値 R1	R2	現在値 R3	目標値 R7	施策
生物多様性の保全に繋がる取組を評価する指標として活用	混交林への誘導整備面積	0ha	0ha	45ha	1,100 ha	生物多様性の保全
	特定希少野生動植物の指定数	12種	12種	12種	20種	
ニホンジカの生息密度の適正管理を評価する指標として活用	ニホンジカの捕獲数	(メス)5,462頭/年 (オス)4,115頭/年	(メス)5,555頭/年 (オス)4,493頭/年	(メス)6,141頭/年 (オス)4,677頭/年	(メス)6,000頭/年 (オス)4,000頭/年	生物多様性の再生

※ は、県産材の安定供給及び利用促進に関する部分

V 森林のレクリエーション機能の強化

指標設定の趣旨	指標項目	基準値 R1	R2	現在値 R3	目標値 R7	施策
森林の利用者数を評価する指標として活用	自然公園等の利用者数	15,250千人/年	8,947千人/年	8,774千人/年	16,000千人/年	レクリエーションの場づくり
	奈良県植栽計画(「なら四季彩の庭」づくり)の事業着手エリア数(森林・里山分野)	23箇所	23箇所	23箇所	↗	
イベント等の活用を評価する指標として活用	体験学習(森の学校)への参加者数	4,014人 (H29~R1)	330人	132人	5,600人 (R3~R7)	イベント等の活用によるレクリエーションの機会づくり

VI 奈良の木ブランド戦略の推進

指標設定の趣旨	指標項目	基準値 R1	R2	現在値 R3	目標値 R7	施策
奈良の木の認知度を評価する指標として活用	ポータルサイトのユニークユーザー数	48,183人	53,168人	75,601人	60,000人	奈良の木のブランド力の強化・発信
奈良の木の販路拡大を評価する指標として活用	販路拡大支援件数	58件/年	61件/年	64件/年	80件/年	国内外への販路拡大

VII 県産材の需要拡大

指標設定の趣旨	指標項目	基準値 R1	R2	現在値 R3	目標値 R7	施策
公共建築物への県産材利用を評価する指標として活用	低層の公共建築物の木造率	15% (H30)	26% (R1)	22% (R2)	26%	公共建築物・公共工事への県産材利用の推進
民間建築物への県産材利用を評価する指標として活用	産業用建築物の木造率	10%	8%	13%	16%	民間における県産材利用の促進
木質バイオマス利用を評価する指標として活用	燃料チップ用原木供給量	40,000m ³ /年	50,329m ³ /年	44,868m ³ /年	70,000m ³ /年	木質バイオマス利用の促進
需要拡大を担う人材育成を評価する指標として活用	木造建築に関するセミナー等の受講者数	0人	81人	52人	100人	県産材の需要拡大を担う人材の育成

VIII 県産材の加工・流通の促進

指標設定の趣旨	指標項目	基準値 R1	R2	現在値 R3	目標値 R7	施策
木材加工の効率化を評価する指標として活用	県産製材品出荷量	64千m ³ /年	55千m ³ /年	62千m ³ /年	70千m ³ /年	木材加工の効率化
木材流通の合理化を評価する指標として活用	工場と川上との直接取引契約量	12,761m ³ /年	24,130m ³ /年	20,906m ³ /年	18,000m ³ /年	木材流通の合理化
	機械等級区分構造用製材JAS認証工場数	1件	1件	2件	3件	

※



は、県産材の安定供給及び利用促進に関する部分

Ⅲ. 持続的に森林資源を供給する森林づくり

No.	事業名	R3決算額 単位:千円	内容								
1 (共生)	森林整備地域活動支援事業 [一部森林地域活動]	8,854	市町村長との協定に基づき計画的な森林整備のための地域活動を実施する 森林所有者等に対し、交付金を交付 <table border="1"> <thead> <tr> <th>成果指標</th> <th>元年度</th> <th>2年度</th> <th>3年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>交付金を活用して作成された森林 経営計画の面積(ha)</td> <td>264</td> <td>311</td> <td>419</td> </tr> </tbody> </table>	成果指標	元年度	2年度	3年度	交付金を活用して作成された森林 経営計画の面積(ha)	264	311	419
成果指標	元年度	2年度	3年度								
交付金を活用して作成された森林 経営計画の面積(ha)	264	311	419								
2 (共生)	次世代型森林情報活用推進事業 [森林環境整備保全促進]	101,452	市町村による森林整備を支援するため、県内の森林情報を航空レーザ測 量により調査 測量実施市町村 五條市 解析実施市町村 吉野町、大淀町、下市町、黒滝村、川上村 <table border="1"> <thead> <tr> <th>成果指標</th> <th>元年度</th> <th>2年度</th> <th>3年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>航空レーザ測量実施面積(km²)</td> <td>126</td> <td>445</td> <td>276</td> </tr> </tbody> </table>	成果指標	元年度	2年度	3年度	航空レーザ測量実施面積(km ²)	126	445	276
成果指標	元年度	2年度	3年度								
航空レーザ測量実施面積(km ²)	126	445	276								
3 (資源)	奈良県木材生産推進事業	259,100	奈良型作業道重点開設事業 集約化団地における耐久性のある作業道の開設に対し補助 補助先 6事業体 作業道開設 14,856m 木材生産強化事業 集約化団地における搬出間伐の実施に対し補助 補助先 7事業体 利用間伐 157ha 林業機械導入支援事業 木材搬出用林業機械(フォワーダ)の導入に対し補助 補助先 1事業体 林業機械レンタル事業 木材搬出用林業機械(ウィンチ付グラップル等)のレンタルに対し補助 補助先 6事業体 架線集材施設設置支援事業 作業道等と組み合わせた架線集材施設設置に対し補助 補助先 1事業体 設置延長3,550m								
4 (資源)	森林資源適正管理推進事業	153,678	事業量 265.8ha 実施地域 桜井市外13市町村 <table border="1"> <thead> <tr> <th>成果指標</th> <th>元年度</th> <th>2年度</th> <th>3年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>間伐面積当たりの木材生産量 (m³/ha)</td> <td>51</td> <td>45</td> <td>50</td> </tr> </tbody> </table>	成果指標	元年度	2年度	3年度	間伐面積当たりの木材生産量 (m ³ /ha)	51	45	50
成果指標	元年度	2年度	3年度								
間伐面積当たりの木材生産量 (m ³ /ha)	51	45	50								

※ (資源):森林資源生産課担当 (共生):森と人の共生推進課担当 (森技セ):森林技術センター担当 (木ブラ):奈良の木ブランド課担当

Ⅲ. 持続的に森林資源を供給する森林づくり（つづき）

No.	事業名	R3決算額 単位:千円	路線数等	延長 単位:m	路 線 等	
5 (資源)	県営林道開設	15,703	1	41	川股天辻線	
6 (資源)	補助林道開設	99,446	4	640	ホラ谷立里線 ほか	
7 (資源)	環境保全	11,684	1	147	サンギリ線	
8 (資源)	林道改良事業	46,427	25	214	持打谷線 ほか	
合 計		173,260	成 果 指 標			
			元年度	2年度	3年度	
			林道密度(m/ha)	3.22	3.22	3.23

No.	事業名	R3決算額 単位:千円	内 容								
9 (資源)	県産材生産促進事業	40,000	間伐材の搬出を支援する市町村に対し補助 補助先 奈良市外16市町村 <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <thead> <tr> <th>成 果 指 標</th> <th>元年度</th> <th>2年度</th> <th>3年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>間伐材搬出量(m³)</td> <td>18,676</td> <td>20,000</td> <td>20,000</td> </tr> </tbody> </table>	成 果 指 標	元年度	2年度	3年度	間伐材搬出量(m ³)	18,676	20,000	20,000
成 果 指 標	元年度	2年度	3年度								
間伐材搬出量(m ³)	18,676	20,000	20,000								
10 (森技セ)	県営林造成事業	19,132	県営林において森林整備を実施 保育間伐 ヤナ谷外3経営区 19.47ha								
11 (森技セ)	施業提案体制整備事業	1,438	「儲かる林業」の施業プランを森林所有者に提案するとともに、意欲ある素材生産事業者と森林所有者とのマッチングを実施 木材搬出 宇陀市外3市村 9団地 2,613m ³								

VI. 奈良の木ブランド戦略の推進

No.	事業名	R3決算額 単位:千円	内容								
12 (木ブラ)	森林環境教育推進事業 [森林環境保全]	5,196	雑誌、バス広告、デジタルサイネージ等を用いた木育のPR活動を実施 奈良木育ウェブサイトの制作 奈良の木づかい運動推進のPR活動を実施 「奈良の木づかい運動」Webページの制作								
13 (木ブラ)	奈良の木PR戦略推進事業	4,047	奈良県産材をはじめとする木材に関する情報を集約したポータルサイト 「奈良の木のこと」の更新・拡充 <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th>成果指標</th> <th>元年度</th> <th>2年度</th> <th>3年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>サイトアクセス数(件)</td> <td>48,183</td> <td>53,168</td> <td>75,601</td> </tr> </tbody> </table>	成果指標	元年度	2年度	3年度	サイトアクセス数(件)	48,183	53,168	75,601
成果指標	元年度	2年度	3年度								
サイトアクセス数(件)	48,183	53,168	75,601								
14 (木ブラ)	県産材首都圏販路拡大事業	9,166	首都圏の商業施設や住宅等への新たな販路の開拓 奈良の木PRイベントの実施 開催日 令和3年10月20日～26日 場 所 玉川高島屋S・C 開催日 令和3年11月23日～12月5日 場 所 奈良まほろば館 首都圏の建築関係者等を対象とした奈良の木視察ツアーの実施 開催日 令和3年7月20日・21日、10月14日、11月12日、 令和4年3月25日 場 所 県内の山林及び製材所等 参加者数 延べ57名								
15 (木ブラ)	県産材海外販路拡大事業	1,836	海外の木材業界及び木材輸出の実情に精通した専門家や国内商社等から、 海外の木材利用の現状やニーズ等を情報収集 海外の木材需要の動向や県産材の海外輸出の可能性を考えるセミナーの実施 県産材の海外販路開拓に向けたウェブサイトの制作								
16 (木ブラ)	県産材新市場開拓事業	1,637	奈良県産材の需要が見込まれる高岡木材市場(富山県射水市)において PR活動、展示、販売、商談会を実施 開催日 令和3年10月28日								

Ⅶ. 県産材の需要拡大

No.	事業名	R3決算額 単位:千円	内容
17 (木ブラ)	奈良の木住宅利用促進事業	22,319	地域認証材活用住宅の新築・リフォーム等に対し補助 地域認証材使用量 217㎡ 補助件数 92件 県産材活用住宅の新築・リフォーム等に対し補助 県産材使用量 729㎡ 補助件数 130件
18 (木ブラ)	建築物木造木質化推進事業	2,094	県産材を使用した木造建築物の設計・施工ノウハウを検討 発注者(県・市町村)、木材関係者、設計施工関係者により、公共建築物の 木造化を推進する人材を養成するワークショップを開催 第1回 令和3年10月29日 参加者数 22名 第2回 令和3年12月24日 参加者数 22名 第3回 令和4年1月26日 参加者数 33名 公共建築物の発注者向けに「奈良県県産材を使用した中大規模公共建築物 計画のための手引き」を作成
19 (木ブラ)	木質バイオマスエネルギー 普及促進事業	8,429	奈良県地域内エコシステム連絡検討会の開催 開催日 第1回 令和3年7月5日 場所 橿原総合庁舎 第2回 令和4年2月18日 オンライン開催 ペレットストーブのデモンストレーション運転を実施 稼働数 2カ所 木質ペレット配付量 7,000kg 木質バイオマス燃料実態調査の実施 将来的なバイオマス燃料の急速な需要拡大に対応するため、県内森林 組合、木材生産者、燃料製造・利用施設に対して利用供給状況を調査

Ⅷ. 県産材の加工・流通の促進

No.	事業名	R3決算額 単位:千円	内容
20 (木ブラ)	奈良の木サプライチェーン構築 事業	2,684	県産材のうち一般材(並材)の流通取引量拡大に向け、大口の需要先となる 大規模製材工場、供給元となる素材生産業者に対して、需要と供給のニーズ のマッチング方策を提案
21 (木ブラ)	木材加工流通施設整備事業	8,500	製材工場等の木材加工機械や乾燥機等の加工流通施設整備に対し補助 補助先 1事業体 補助対象 木材加工流通施設整備

「奈良県森林環境の維持向上及び県産材の利用促進に関する指針」に基づく施策の概要（R4）

森と人の共生推進課

森林資源生産課

奈良の木ブランド課

I 新たな森林環境管理体制の構築・推進

■新たな森林環境管理体制の構築・推進

- ・恒続林化の促進
- ・奈良県フォレスターの配置検討
- ・生物多様性指標の確立
- ・リース林業教育センターとの交流



■新たな森林環境管理を担う人材の確保

- 奈良労働局、県林業労働力確保支援センター、県森林組合連合会、出所者支援財団と連携し、新規林業就業者の確保・育成・定着に向けた取組を行う
- ・新規林業就業確保等のための関係団体支援
- ・新規林業就業者の掘り起こし、県内林業事業者への的確なマッチング



II 災害に強い森林づくり

■施業放置林の解消

- 混交林(恒続林化・自然林化)
- ・混交林誘導整備事業
防災力の高い森林に誘導するため、数力所の小面積皆伐を実施し、地域の特性に応じた広葉樹等を植栽するとともに、周辺環境整備を行う



- 山地災害の予防と復旧(治山事業)
- ・機能の低下した保安林の計画的整備
- ・山地災害を未然に防止するための治山施設整備
- ・山地災害を復旧するための治山施設整備



III 持続的に森林資源を供給する森林づくり

■森林経営管理制度運用に関する市町村支援

- ・県内の森林情報を航空レーザにより調査
- ・森林経営管理について助言・指導・技術的支援
- ・紀伊半島3県連携森林管理研究開発事業を実施

■県営林の森林整備の推進

- ・県営林での保育、立木販売等の木材生産

■基幹となる林道の整備

- ・生産木材の原木市場等への運搬促進
- ・林業を担う地域住民の利便の向上を図る

■大規模集約化団地からの木材搬出の促進

- ・施業を集約化し、作業道等の基盤整備と併せて機械化を進め、低コストで安定的な木材生産を図る
- ・まとまった森林施業区域において奈良県独自の作業道「奈良型作業道」の重点整備
- ・利用間伐を繰り返し実施し、A・B・C材を効率的に搬出
- ・高性能林業機械等の導入に係る経費を助成
- ・急峻な地形では、架線集材施設の設置に係る経費を助成

■計画的な集約化施業の促進

- 森林所有者、森林組合、林業事業者が行う森林経営計画等に基づく計画的な森林施業を促進
- ・施業提案団地等の集約化団地の設定
- ・森林経営計画に基づく森林施業に対する助成
- ・皆伐再造林の一貫作業システムによるコンテナ苗を活用した低コスト再造林技術の導入支援



IV 生物多様性が保全される森林づくり

■森林生態系の保全

- ・ナラ枯れ被害調査、ナラ枯れ対策協議会開催等による情報共有
- ・森林病虫害防除



V 森林のレクリエーション機能の強化

■森林環境教育の推進

- ・指導者の養成 副読本等の配布
- ・企業等による森づくりへの支援



VI 奈良の木ブランド戦略の推進

■奈良の木のブランド力強化・発信

- ・ポータルサイト・SNSによる情報発信
- ・「奈良の木づかい運動」 木育の推進

■国内外への販路拡大

- ・首都圏の建築関係者等へのセールスや PR イベント
- ・海外へのプロモーションの実施



VII 県産材の需要拡大

■公共建築物や住宅等への県産材利用促進

- ・公共建築物の木造・内装木質化整備に対し補助
- ・奈良の木利用推進協議会の開催
- ・住宅助成
- ・木材加工利用技術の研究

■木質バイオマスの利用促進

- ・木質バイオマス利用施設等の整備に対し補助
- ・利活用検討会議の開催
- ・地域内エコシステムの導入支援

■県産材の需要拡大を担う人材の育成

- ・木造建築の設計・施工に携わる技術者の育成
- ・「奈良の木大学」の開講



VIII 県産材の加工・流通の促進

■木材加工の効率化、木材流通の合理化

- ・木材加工流通施設整備への補助
- ・流通効率化や高付加価値化、品質管理体制強化に向けた調査



I. 新たな森林環境管理体制の構築・推進
 (3) 新たな森林環境管理を担う人材の確保

No.	事業名	内容	R4予算額 (R3) 単位:千円
1 (資源)	林業機械化推進事業 県・民間実施	奈良県林業機械化推進センターにおいて、林業機械化に向けての研修事業を行う。 1. 管理運営事業 2. 研修事業 3. 林業労働力確保推進事業	8,394 (8,410)
2 (資源)	林業労働力確保支援センター推進事業 民間実施	(公財)奈良県緑化推進協会(林業労働力確保支援センター)が実施する林業労働後継者の育成・確保対策の円滑な推進を図るために要する運営及び事業実施にかかる経費について補助を行う。	5,640 (5,640)
3 (資源)	林業労働安全衛生総合対策事業 県・民間実施	林材業における労働災害の発生を防止し、総合的な安全衛生確保対策を推進する。 1. 振動障害特殊健康診断促進事業 2. 林業・木材産業労働災害防止対策事業	938 (938)
4 (資源)	林業労働者退職金共済制度推進事業 市町村・民間実施	林業労働者の福祉の向上、生活の安定を図るための退職金の掛金助成を行う。 助成先 宇陀市 外11市町村 加入者 174人 補助額 7,667千円(掛金総額 51,100千円) 補助率 1/2[掛金月額(10~26千円)の15%]	7,053 (7,667)
5 (資源)	森林組合連合会指導活動促進事業 民間実施	森林整備の担い手である森林組合の事業機能の強化を図るため、森林組合連合会の指導活動を支援する。	620 (700)
6 (資源)	林業経営体能力評価システム導入支援事業 民間実施	林業経営体における能力評価制度の構築を図るための専門家派遣費用に対し補助 負担区分 国1/2・実施主体1/2	500 (500)
7 (資源)	新たな森林環境管理制度担い手確保事業 県実施	新たな森林環境管理体制の構築・推進のため、無料職業紹介所において新規就業者の掘り起こしや県内林業事業者とのマッチング等を実施	1,220 (7,850)

※ I. 新たな森林環境管理体制の構築・推進 については、「県産材の安定供給及び利用促進」に関する部分 ((3) 新たな森林環境管理を担う人材の確保)を抜粋

(本資料 P4 参照)

※ (資源): 森林資源生産課担当 (共生): 森と人の共生推進課担当 (森技セ): 森林技術センター担当 (木ブラ): 奈良の木ブランド課担当

Ⅲ. 持続的に森林資源を供給する森林づくり

No.	事業名	内容	R4予算額(R3) 単位:千円
8 (共生)	森林整備地域活動支援事業 民間実施	市町村長との協定に基づき森林経営計画作成等を行う森林所有者等に対し、国の制度と連携し、交付金を交付 負担区分 国(基金)1/2・県1/4・市町村1/4 (森林整備地域活動支援基金活用事業)	28,973 (24,683)
9 (共生)	次世代型森林情報活用推進事業 県実施	市町村の森林管理を支援するため、県内の森林情報を航空レーザにより調査 負担区分 県(基金)10/10	112,605 (116,669)
10 (共生)	森林情報活用促進事業 市町村・民間実施	市町村が林地台帳を効率的に運用するために行う森林情報の取得及び伐採届等の情報とリンクさせたシステム整備に対し補助	0 (5,000)
11 (共生)	林業改善資金貸付事業(特別会計) 県実施	経営改善を図るために生産施設・設備の導入等を行う林業者等に対する資金の貸付け 負担区分 県10/10	101,867 (101,967)
12 (共生)	林業普及指導事業 県実施	森林・林業に対する県民の多様な要請に応えるため、普及指導職員の資質向上に努めるとともに地域における普及指導等に取り組む。 1. 地区運営費(普及指導区運営費) 2. 技術研修費 3. 普及情報活動費 4. 特別普及活動費 負担区分 国1/2・県1/2	6,440 (6,629)
13 (資源)	奈良県木材生産推進事業 民間実施	木材安定供給団地において、長期間使用できる壊れにくい作業道の重点開設等による木材生産拡大への取組に対し補助 負担区分 1. 奈良型作業道重点開設事業 国51%・県30~37% 実施主体19%~12% 2. 木材生産強化事業(利用間伐) 国51%・県17%、 実施主体32% 3. 林業機械レンタル事業 県1/2・実施主体1/2 4. 架線集材施設設置支援事業 県1/2・実施主体1/2 5. 林業機械等導入支援事業 国1/3.4/10・ 実施主体2/3.6/10	当初 254,994 (257,994) 2月補正 93,967 (21,185)

No.	事業名	内容	R4予算額(R3) 単位:千円
14 (資源)	森林資源適正管理推進事業 市町村・民間実施	森林の持つ多面的機能の維持・増進を図るための森林整備に対し補助 負担区分 国51%・県17%・実施主体32%	当初 159,833 (159,553) 2月補正 129,535 (0)
15 (資源)	新)森林の多面的機能強化促進事業 市町村・民間実施	森林の多面的機能を高度に発揮する森林づくりを促進するため、集約化団地での利用間伐に対し補助 負担区分 国51%・県17%・実施主体32%	97,500 (0)
16 (資源)	美しい森林づくり基盤整備交付金指導監督費(造林) 県実施	市町村が行う「美しい森林づくり基盤整備交付金事業」にかかる指導監督費	2,000 (2,000)
17 (資源)	低コスト一貫作業システム推進事業 市町村・民間実施	持続的な森林経営と低コスト素材生産を可能にする小規模皆伐事業並びに広葉樹等コンテナ苗の植栽により、一貫作業システムの導入による事業効果や課題を検証 負担区分 国54%・県18%・実施主体28%	3,850 (3,200)
18 (資源)	持続的林業確立対策作業 民間実施	生産基盤強化区域内における路網整備、搬出間伐等の森林整備に対し補助 負担区分 国50%・実施主体50%	2,775 (2,322)
19 (資源)	県営林道開設事業(山村代行) 県実施	過疎、山村地域の発展及び林業の振興上、重要な林道について県代行林道として開設事業を実施する ・山村代行(山村振興法第11条の大臣指定基幹道路) 負担区分 国1/2・県1/2	0 (39,800)
20 (資源)	補助林道開設事業 市町村実施	民有林林道開設事業の補助を行う 補助率 60%(国50% 県10%)	60,075 (56,474)
21 (資源)	林道環境保全事業 市町村実施	既設林道について、法面整備及び緑化等の補助を行う 補助率 57%(国50% 県7%)	17,835 (11,684)

Ⅲ. 持続的に森林資源を供給する森林づくり（つづき）

No.	事業名	内容	R4予算額(R3) 単位:千円
22	林道改良事業 (資源) 市町村実施	既設林道について、局所改良や橋梁・トンネルの点検診断等の補助を行う 補助率 37%(国30% 県7%)、57%(国50% 県7%)	93,478 (66,337)
23	県単独林道事業 (資源) 市町村実施	市町村等が実施する林道整備(開設、改良、舗装等)のうち、主に国庫補助対象外の事業に対して補助を行う 補助率 50%(県50%)	60,900 (60,900)
24	県産材生産促進事業 (資源) 市町村・民間実施	間伐材等の搬出・利用に積極的に取り組む林業事業者・森林組合等を支援する市町村に対し補助 補助単価 2,000円/m ³ 負担区分 県10/10	40,000 (40,000)
25	新)スマート林業の全国展開に向けた導入支援事業 (資源) 民間実施	スマート林業や低コスト造林モデルの導入・普及のために必要な機器の導入経費に対し補助 負担区分 国10/10	2月補正 9,250 (0)
26	林業機械リース導入支援事業 (資源) 民間実施	素材生産事業者が林業機械をリース方式により導入するための経費に対し補助 実施主体 民間事業者 負担区分 国1/3~4/10・実施主体2/3~6/10	12,000 (12,000)
27	試験研究事業 (森技セ) 県実施・民間実施	1. 森林業技術に関する開発研究を行う (1)広葉樹コンテナ苗生産技術の検討 (2)吉野林業地へのウィッセン集材機の導入 (3)バカマツタケの林地栽培技術の改良 2. 木材の加工利用技術に関する開発研究を行う。 (1)県産スギ材・ヒノキ材を用いた衝撃吸収フローリングの開発 (2)積木痕の原因究明及びその低減方法の開発 (3)スギ大径材の加工技術の検討 (4)恒続林誘導に向けた広葉樹材利用に関する調査 (5)奈良県産スギ黒心材の屋外耐久性評価 負担区分 国1/2・県1/2(一部県10/10)	3,719 (3,920)

No.	事業名	内容	R4予算額(R3) 単位:千円
28	受託研究・共同研究・受託調査事業 (森技セ) 県実施・民間実施	独立行政法人・大学等との共同研究・企業等からの受託研究による森林・林業・木材産業に関わる試験研究を行う。 (1)共同研究 (2)受託研究 (3)受託調査 負担区分 その他10/10	20,000 (20,000)
29	県営林造成事業 (森技セ) 県実施	県有林、県行造林、全国植樹祭記念分収造林、水源100年の森分収育林、林業基金分収造林の県営林において、健全な森林の造成を進めるため保育・管理を行うとともに分収育林事業にかかる立木販売・分収の実施、県有林の立木販売を行う。 1. 県営林管理事業 1,708千円 県営林の管理等 県有林、県行造林 15経営区 4,008 ha 水源100年の森分収育林 6経営区 8 ha 林業基金分収造林 156経営区 1,328 ha 全国植樹祭記念分収造林 34団地 1,117 ha 負担区分 県10/10 2. 県営林造成事業 22,762千円 分収育林契約地の立木販売後に必要な管理・調査等の実施 県営林における劣勢木等整理 負担区分 県10/10 県営林分収造林地における保育間伐を実施 負担区分 県1/2・その他1/2 県有林での間伐・搬出を行い、バイオマス燃料として活用する取組をモデル的に実施 負担区分 寄付金(企業版ふるさと納税制度)10/10	24,470 (22,635)
30	施業提案体制整備事業 (森技セ) 県実施	森林所有者の意欲低下のため木材生産が行われていない地域において、「儲かる林業」の施業プランを森林所有者に提案するとともに、意欲ある素材生産業者とのマッチングを行い、素材生産量の拡大を図る。 負担区分 国1/2・県1/2	3,162 (3,552)
31	林産業金融対策事業 (ホブラ) 県実施	木材の生産または流通を担う事業者に対して、事業の合理化を推進するために必要な資金を低利で融資する 貸付先:林業・木材産業の事業者で合理化計画の認定	243,978 (325,315)

Ⅶ. 県産材の需要拡大

No.	事業名	内容	R4予算額(R3) 単位:千円
38	建築物木造木質化推進事業	<p>県産材による公共建築物の木造化・内層木質化整備に対し補助 実施主体 社会福祉法人 負担区分 国1/2以内・実施主体1/2以上</p> <p>奈良の木利用推進協議会の開催 負担区分 県10/10</p> <p>公共建築物等の木造化・内装木質化整備を推進するため、設計・施工に携わる建築士等の技術者を育成 負担区分 県10/10</p> <p>建築を学ぶ大学生・大学院生を対象に、奈良県の林業や県産材の魅力・特長、木造建築技術などの講義を行う「奈良の木大学」を開講 時期 令和4年9月(予定) 負担区分 県10/10</p>	207,492 (3,520)
(木ブラ)	県・民間実施		
39	奈良の木住宅利用促進事業	<p>地域認証材や県産材を活用した住宅の新築・リフォーム等に対し補助</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域認証材 補助額 構造材5㎡以上 150千円 内装材20㎡以上 100千円 補助戸数:90戸 ・県産材 補助額 構造材5㎡以上 100千円 内装材20㎡以上 50千円 補助戸数:142戸 <p>負担区分 県10/10</p> <p>「奈良の木」マーケティング協議会が実施する住宅への県産材利用のPR経費に対し負担 負担区分 民間負担分除き県10/10</p>	23,242 (23,240)
(木ブラ)	民間実施		

No.	事業名	内容	R4予算額(R3) 単位:千円
40	木質バイオマスエネルギー普及促進事業	<p>木質バイオマス利活用検討会議の開催 市町村における木質バイオマスを活用した地域内エコシステムの導入を支援 負担区分 県10/10</p>	1,446 (9,107)
(木ブラ)	県実施		
41	木質バイオマス利用施設整備事業	<p>木質バイオマス加工利用施設等の整備に対し補助 事業主体 市町村・民間事業者 負担区分 国1/2・実施主体1/2</p>	70,000 (0)
(木ブラ)	市町村・民間実施		

Ⅷ. 県産材の加工・流通の促進

No.	事業名	内容	R4予算額(R3) 単位:千円
42 (木プ ラ)	奈良の木サプライ チェーン構築事業 県実施	県産材の流通効率化や高付加価値化、品質管理体制強化に向けた調査等を実施 負担区分 国1/2・県1/2	3,570 (2,760)
43 (木プ ラ)	木材加工流通施 設整備事業 民間実施	製材工場等による木材加工機械や乾燥機等の加工流通 施設整備に対する助成を行う 負担区分 国1/2以内・実施主体1/2以上	当初 0 (37,500) 2月補正 95,120 (0)
44 (木プ ラ)	林産業活性化 促進支援事業 民間実施	県内木材市場や地域認証材に関する調査分析、分析結果 の情報提供等、本県の林産業の活性化促進の取組に対し 補助 実施主体 奈良県木材協同組合連合会 負担区分 県1/2・実施主体1/2	1,127 (1,127)